



新規採用常備医薬品等のお知らせ

平成 30 年 11 月 14 日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規常備医薬品、切り替え医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。平成 30 年 12 月 11 日（火）からオーダ開始となっています。

年末年始の薬の取り扱いについて

12 月 10 日付の通知にありますように、年末年始（12/28(金)17:00～1/4(金)8:30）に使用する薬剤の請求は以下の通りになっています。

【内服・外用薬：調剤室（☎2669）】

年末年始に投与予定の処方箋は 12/28(金)17:00 までにオーダしてください。また、入院時間外処方箋は長期コメントを入力しても最大 3 日分しか処方できませんのでご注意ください。時間外は薬剤部のシステムが稼働していないため、自動錠剤分包は行うことができませんのでご了承ください。

【注射薬：注射調剤室（☎2724）】 予定注射の締切日にご注意ください。

実施日	入力締切日	交付日
12/28～12/31	12/27(木)の各診療科の締切時間まで	12/27(木)
1/1～1/4	12/28(金)の各診療科の締切時間まで	12/28(金)

※病棟在庫を有効活用していただき、協定在庫使用でオーダして下さい。翌日にストック使用分として病棟へ送付します。

【院内製剤：製剤室（☎2666）】 12/28(金)～1/7(月)まで休止します。

【薬物血中濃度：研究室（☎2671）】 12/29(土)～1/3(木)まで休止します。

なお測定は検査部へ移行されています。測定に関しましては検査部にご確認ください。

【処置薬：薬務室（☎2667）】

12/29(土)～1/3(木)まで、休止します。
(年始の発注は 1/3(木)17 時締切、払出しは 1/7(月)。)

※年末年始期間中の連絡先は当直室☎2669 へ

注射処方箋による年末年始の調剤・搬送について

年末年始は 6 連休のため最長 8 日分の調剤を行うことになります。これを一度に搬送すると薬剤部のみならず、病棟でも混乱を起こしかねません。また、中止による削除や修正で大量の返却も予想されます。

従いまして、業務を円滑に遂行するために注射処方箋による年末年始の調剤・搬送は当日および翌日の実施日分のみとさせていただきます。

処方箋及びラベルは当日+翌日のみ送付してください。

例) 12/29 は 12/29 の実施分+12/30 の実施分を調剤・搬送、12/31 の実施分は 12/30 に調剤・搬送する。

麻薬免許証の期限切れにご注意ください

麻薬免許証の有効期限は、取得の日から翌々年の12月31日までです。
来年は「第17ー」、「第18ー」、「第19ー」以外はすべて無効になります。今一度ご確認ください。

麻薬施用簿の変更点について

2019年5月1日からの元号変更、また記載方法を分かりやすくするため麻薬施用簿を下記のように変更致します。

主な変更点としては、

- ① 施用簿の表紙に「記入例」を記載
- ② 入院：病棟名、外来：科名を記載
- ③ 「平成」→「西暦」
- ④ 「施用時間」→「施用開始時刻」等になります。

現行の施用簿の在庫がなくなり次第、切り替えとなりますので、よろしくお願いします。

麻 薬 施 用 簿

自 西暦 年 月 日
至 西暦 年 月 日
(- 病棟)

①

記入例) 以下のように記載して下さい。

②	○入院 (○ - ○ 病棟) ○外来 (○ 科)	③	該当するいずれかに記載	西暦 ○ 年 ○ 月 ○ 日 受領				
患者氏名	薬品名	請求数量	施用数量	返却数量	④ 施用開始時刻	備考	交付者名	※
例) 山大 太郎	モルヒネ塩酸塩 注10mg,1mL	1 A	1 mL	0 mL	8 時 30 分			
		A	mL	mL	時 分			
		A	mL	mL	時 分			

mL表示のため、注意！

「エルカルチンFF内用液10%分包10mL」自主回収のお知らせ

◎エルカルチンFF内用液10%分包10mL(一般名:レボカルニチン)＜レボカルニチン製剤＞

シール不良に伴う液漏れが確認されたため、該当ロット8E92CS2(2021年5月)が自主回収となりました。

なお、当院在庫の該当ロットは回収済みです。一部のロットは既に使用されていましたが、本件に関する健康被害の報告はありません。

「エピペン注射液0.3mg」供給回復のお知らせ

◎エピペン注射液0.3mg(一般名:アドレナリン)＜アナフィラキシー補助治療剤＞

海外製造元からの出荷遅延による供給不足に対して処方制限等ご対応頂いていましたが、製造元からの輸入量も従来レベルに回復しており、国内在庫量も確保できたことから、すでに供給回復した「エピペン注射液0.15mg」と同様、「エピペン注射液0.3mg」についても、通常の供給に回復となりました。

「ペチジン塩酸塩注射液50mg「タケダ」」自主回収・出荷再開のお知らせ

◎ペチジン塩酸塩注射液50mg「タケダ」(一般名:ペチジン塩酸塩)＜鎮痛剤＞

武田薬品工業で製造販売されている注射用麻薬製剤の一部において、着色が確認され、原因が特定できないため、当院においては「ペチジン塩酸塩注射液50mg「タケダ」」の該当ロットが自主回収となりました。

当院在庫の該当ロットは回収済みです。一部のロットは既に使用されていましたが、本件に関する健康被害の報告はありません。

調査の結果、今回の着色は、製造工程におけるアンプル自動検査機の誤設定により、アンプルが通常より長時間電圧に曝露されたため注射剤が着色したものと原因が特定されました。この原因となったアンプル自動検査機の設定を正すことで対応を完了し、対象の注射用麻薬製剤については全数目視検査による品質確認を行った上で、順次出荷再開されることとなりました。

当院の「ペチジン塩酸塩注射液50mg「タケダ」」においては、平成30年12月7日より出荷が再開され、院内での使用が可能となりました。

「乾燥BCGワクチン(経皮用・1人用)」代替品出荷開始のお知らせ

◎乾燥 BCG ワクチン(経皮用・1 人用)＜ワクチン＞

純度試験（ヒ素）の規格値（三酸化二ヒ素として0.1ppm以下）を超え（0.11～0.26ppm）、不適合であることが判明した件について、この度、日本薬局方に適合する生理食塩液を添付溶剤とする製品（代替品）が出荷開始となりました。当院では、平成30年11月22日より、従来品から代替品に切り替えとなっています。

代替品は、BCGワクチンの製品箱の外側に、適合した生理食塩液を収納した小箱を貼付しています。BCGワクチンの懸濁には、外付けの小箱に収納された溶剤（ピンク色のラインが入っています）をご使用ください。なお、BCGワクチンの製品箱内の生理食塩液（BCGワクチンのトレーに収納された溶剤）は使用せずに、医療廃棄物として廃棄をお願いいたします。

「アレルゲンスクラッチエキス「トリイ」」自主回収・長期欠品のお知らせ

◎アレルゲンスクラッチエキス「トリイ」卵黄・卵白・牛乳＜アレルゲン検査薬＞

製造販売承認書に関する法手続き上の不備が判明したため、自主回収となりました。

当院には該当ロット番号の製品は納入されていません。

回収に伴い、当該3製品は長期欠品となります。今後の安定した供給再開の見込みについては、分かり次第、随時連絡いたします。

「在宅自己注射指導管理料」対象薬剤への追加に関するお知らせ

◎ケブザラ皮下注150mg、200mgシリンジ(一般名:サリルマブ(遺伝子組換え))

＜ヒト型抗ヒトIL-6受容体モノクローナル抗体＞

2018年12月1日より、上記の薬剤が「在宅自己注射指導管理料」対象薬剤となり在宅自己注射が保険適応になりました。これに伴い、退院・外来処方オーダーが可能になります。

院内副作用報告

2018年11月に当院での使用患者において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
ホストイン静注 750 mg	低血圧
リクシアナ OD 錠	脳内出血

上記薬剤を使用する際には、副作用の発現にご注意ください。

適正使用のお願い

◎コソプト配合点眼液(一般名:ドルゾラミド塩酸塩・チモロールマレイン酸塩)＜緑内障・高眼圧症治療剤＞

◎チモプトールXE点眼液0.5%(一般名:チモロールマレイン酸塩)＜緑内障・高眼圧症治療剤＞

チモロールマレイン酸塩(β遮断薬)含有点眼液は「コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、心原性ショックのある患者」及び「気管支喘息、又はその既往歴のある患者、気管支痙攣、重篤な慢性閉塞性肺疾患のある患者(以下、喘息等の患者)」への投与は禁忌です。しかしながら、現在でも心房細動、徐脈等を訴える患者さんや、喘息等の既往のある患者さんにチモロールマレイン酸塩含有点眼液を投与された症例が報告されています。

つきましては、チモロールマレイン酸塩含有点眼液をより安全に使用するため、以下の「心疾患の症状増悪及び喘息発作を回避するためをお願いしたいこと」をご確認いただき、適正使用の推進にご協力ください。

なお、詳細は添付文書の「禁忌」を含む「使用上の注意」全文をご確認ください。

心疾患の症状増悪及び喘息発作を回避するためをお願いしたいこと

処方前に合併症・既往歴を確認
心疾患及び喘息等の合併及び既往歴を確認する

-禁忌例の場合-

- ・コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、心原性ショックの合併例には投与しない
- ・喘息等の合併・既往例には投与しない
→喘息等の患者にはコントロールの状況にかかわらず投与しない

-禁忌例でない場合-

投与中に徐脈等の不整脈や喘息等が疑われた場合、速やかに投与を中止する。
患者に対して、徐脈等の不整脈や喘息等の症状がみられた際には相談するよう指導する。

※他社製品のβ遮断薬含有点眼液も同様と考えられますので、併せてご確認ください。

◎タミフルカプセル75、ドライシロップ3%(一般名:オセルタミビルリン酸塩)＜抗インフルエンザウイルス剤＞

異常行動による転落等の事故を予防するためのお願い

インフルエンザの患者さんでは、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動に関連すると考えられる転落死等が報告されています。

＜異常行動＞

- ① 就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多い(女性の報告もある)
- ② 発熱から少なくとも2日以内に発現することが多い

＜異常行動の例＞

- ・突然立ち上がって部屋から出ようとする
- ・興奮して窓を開けてベランダに出て、飛び降りようとする
- ・人に襲われる感覚を覚え、外に走り出す
- ・突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする
- ・自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
- ・変なことを言いだし、泣きながら部屋の中を動き回る など

＜事故を防止するために＞

発熱から少なくとも2日間は、就寝中も含め、特に小児・未成年者が容易に住居外へ飛び出さないために、例えば、以下のような具体的な対策を講じるよう、保護者の方に説明してください。

- ・玄関や全ての部屋の窓を確実に施錠する(内鍵、チェーンロック、補助錠がある場合は、その活用を含む)
- ・ベランダに面していない部屋で寝かせる
- ・窓に格子のある部屋がある場合は、その部屋で寝かせる
- ・一戸建てにお住いの場合は、出来る限り1階で寝かせる

警告・禁忌改訂のお知らせ

◎アトルバスタチン錠 5 mg、10 mg「DSEP」(一般名:アトルバスタチンカルシウム水和物)＜HMG-CoA 還元酵素阻害剤＞

◎ロスバスタチン OD 錠 2.5 mg、5 mg「DSEP」(一般名:ロスバスタチンカルシウム)＜HMG-CoA 還元酵素阻害剤＞

【原則禁忌】(次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)

腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に、本剤とフィブレート系薬剤を併用する場合には、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用すること。〔横紋筋融解症があらわれやすい(「相互作用」の項参照)。〕を削除

【原則併用禁忌】フィブレート系薬剤

腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者では原則として併用しないこととするが、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ慎重に併用すること。を削除

◎アナフラニール錠 10 mg、25 mg、点滴静注液 25 mg(一般名:クロミプラミン塩酸塩)＜うつ病・うつ状態治療剤＞

◎トフラニール錠 10 mg、25 mg(一般名:イミプラミン塩酸塩)＜うつ病・うつ状態治療剤・遺尿症治療剤＞

【禁忌】MAO 阻害剤(セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩)を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内の患者 ※下線部を追加

【併用禁忌】ラサギリンメシル酸塩(アジレクト)を追加

◎アブラキサン点滴静注用 100 mg(一般名:パクリタキセル)＜抗悪性腫瘍剤＞

【禁忌】「妊婦又は妊娠している可能性のある婦人」を「妊婦又は妊娠している可能性のある女性」に変更

◎ゲンボイヤ配合錠(一般名:エルビテグラビル、コピシスタット、エムトリシタビン、テノホビル アラフェナミドフマル酸塩)

＜抗ウイルス剤＞

【禁忌】バニプレビル投与中の患者を削除

【併用禁忌】ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩(ジヒデルゴット)及びバニプレビル(バニヘップ)

※下線部を削除

◎タプロス点眼液 0.0015%(一般名:タフルプロスト)＜緑内障・高眼圧症治療剤＞

【禁忌】オミデネパグ イソプロピルを投与中の患者を追加

【併用禁忌】オミデネパグ イソプロピル(エイベリス点眼液)を追加

◎プレセデックス静注液 200 μ g/50mL シリンジ「マルイシ」(一般名:デクスメトミジン塩酸塩)＜鎮静剤＞

【警告】小児への投与に際しては、小児の集中治療に習熟した医師が使用すること。を追加

公知申請についてのお知らせ

◎点滴静注用ホスカビル注24mg/mL(一般名:ホスカルネットナトリウム水和物)＜抗ウイルス剤＞

【効能・効果】造血幹細胞移植後のヒトヘルペスウイルス6脳炎

【用法・用量】通常、ホスカルネットナトリウム水和物として1回体重1kgあたり60mgを、1時間以上かけて8時間ごとに1日3回点滴静注する。

なお、本剤による腎障害を軽減するため、本剤による治療中には水分補給を十分に行い、利尿を確保すること。

◎リウマトレックスカプセル2mg(一般名:メトトレキサート)＜抗リウマチ剤＞

【効能・効果】局所療法で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症

【用法・用量】通常、1週間単位の投与量をメトトレキサートとして6mgとし、1週間単位の投与量を1回又は2～3回に分割して経口投与する。分割して投与する場合、初日から2日目にかけて12時間間隔で投与する。1回又は2回分割投与の場合は残りの6日間、3回分割投与の場合は残りの5日間は休薬する。これを1週間ごとに繰り返す。

なお、患者の年齢、症状、忍容性及び本剤に対する反応等に応じて適宜増減するが、1週間単位の投与量として16mgを超えないようにする。

★抗インフルエンザウイルス薬の安全対策について

抗インフルエンザウイルス薬の安全対策の在り方に関して、平成30年5月16日及び7月13日の安全対策調査会を踏まえ、抗インフルエンザウイルス薬の添付文書の改訂及びインフルエンザ罹患時の異常行動に対する注意喚起資材の作成がなされたので、その内容について紹介する。

★病院及び薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況に関する調査結果と望まれる方向について

PMDAでは、講じた安全対策措置が確実に実施され、患者のより一層の安全が図られることを目的として、平成22年度より、医療機関における安全性情報の入手・伝達・活用状況を把握し、医療機関における安全性情報の活用推進のための方策を検討することを目的とした調査を実施している。本稿では、平成29年度に病院及び薬局を対象に実施した調査結果の概要を紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介する。

◎セクキヌマブ(遺伝子組換え)(商品名:コセンティクス皮下注150mgペン)

＜ヒト型抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体製剤＞

【慎重投与】炎症性腸疾患の患者

【重大な副作用】炎症性腸疾患：炎症性腸疾患があらわれることがあるので、十分観察、炎症性腸疾患が疑われた場合には適切な処置。

※炎症性腸疾患関連症例：6例（うち死亡0例）（平成27年4月～平成30年8月）

◎ラモトリギン(商品名:ラミクタール錠25mg、100mg、小児用2mg、小児用5mg)＜抗てんかん剤・精神神経用剤＞

【重大な副作用】血球貪食症候群：血球貪食症候群があらわれることがあるので、十分観察、発熱、発疹、神経症状、脾腫、リンパ節腫脹、血球減少、高フェリチン血症、高トリグリセリド血症、肝機能障害、血液凝固障害等の異常が認められた場合には、直ちに投与中止、適切な処置。

※血球貪食症候群関連症例：1例（うち死亡0例）（平成27年4月～平成30年7月）

◎レンパチニブメシル酸塩(商品名:レンビマカプセル4mg、10mg)＜抗悪性腫瘍剤＞※10mgは臨時採用薬

【慎重投与】肺転移を有する患者

【重大な副作用】消化管穿孔、瘻孔形成、気胸：腸管穿孔、痔瘻、腸膀胱瘻、気胸等があらわれることがある。十分観察、異常が認められた場合には、中止等の適切な処置。

※気胸関連症例：10例（うち死亡0例）（平成27年4月～平成30年7月）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）から確認可能。

「薬-薬連携による副作用シグナル検出システム」第30回報告会開催

2011年4月1日から山口大学医学部附属病院薬剤部と宇部薬剤師会との連携で行っている「副作用シグナル検出システム」について、システムの改善策や要望等を協議するため、双方で定期的に報告会を開催しています。

第30回報告会を以下の日程及び内容で開催しました。

【日時】2018年11月15日（木）19:30～21:00

【場所】山口大学医学部保健学科S1講義室

【主な内容】・医師への副作用シグナル報告例の詳細

・一般病棟の転倒・転落、せん妄対策を考慮した不眠時指示薬の標準化に向けた取り組み

効能・効果、用法・用量改訂のお知らせ

◎トテムフィア皮下注100mgシリンジ(一般名:グセルクマブ(遺伝子組換え))

＜ヒト型抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤＞※臨時採用薬

【効能・効果】既存治療で効果不十分な掌蹠膿疱症

◎パージェタ点滴静注420mg/14mL(一般名:ペルツズマブ(遺伝子組換え))＜抗悪性腫瘍剤＞

【効能・効果】HER2陽性の乳癌（「手術不能又は再発」を削除）

【用法・用量】術前・術後薬物療法の場合には、投与期間は12ヵ月間までとする。 を追記

◎プラレント皮下注75mgペン(一般名:アリロクマブ(遺伝子組換え))＜高コレステロール血症治療剤＞

【効能・効果】家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症

ただし、以下のいずれも満たす場合に限る。

・心血管イベントの発症リスク高い

・HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分、又はHMG-CoA還元酵素阻害剤による治療が適さない

【用法・用量】・HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分な場合

通常、成人にはアリロクマブ（遺伝子組換え）として75mgを2週に1回皮下投与する。効果不十分な場合には150mgを2週に1回投与に増量できる。

・HMG-CoA還元酵素阻害剤による治療が適さない場合

通常、成人にはアリロクマブ（遺伝子組換え）として150mgを4週に1回皮下投与する。効果不十分な場合には150mgを2週に1回投与に増量できる。

※下線部を追加

◎プレセデックス静注液200 μ g/50mLシリンジ「マルイシ」(一般名:デクスメデトミジン塩酸塩)＜鎮静剤＞

【用法・用量】1. 集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静

通常、6歳以上の小児には、デクスメデトミジンを0.2 μ g/kg/時の投与速度で静脈内へ持続注入し、患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、0.2～1.0 μ g/kg/時の範囲で持続注入する。

通常、修正在胎（在胎週数＋出生後週数）45週以上6歳未満の小児には、デクスメデトミジンを0.2 μ g/kg/時の投与速度で静脈内へ持続注入し、患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、0.2～1.4 μ g/kg/時の範囲で持続注入する。 を追加

販売中止のお知らせ

◎アディノベイト静注用 1000、2000(一般名:ルリオクトコグ アルファ ペゴル(遺伝子組換え))

＜血液凝固第Ⅷ因子製剤＞※臨時採用薬

製造販売中止 経過措置満了日：2021年3月31日予定

※キット製剤販売開始のため（当院未採用）

◎ヘプタボックス-Ⅱ(一般名:組換え HBs 抗原たん白質(酵母由来))＜ワクチン＞

バイアル製剤の製造販売中止 経過措置満了日：2020年3月31日予定

※プレフィルドシリンジ製剤（当院未採用）は販売継続

◎メサフィリン配合散(一般名:銅クロロフィリンナトリウム・プロパンテリン臭化物・ケイ酸マグネシウム)

＜胃・十二指腸潰瘍、胃炎治療剤＞

製造販売中止 経過措置満了日：2020年3月末予定

◎レギチーン注射液 10mg(一般名:フェントラミンメシル酸塩)＜褐色細胞腫用 α ブロッカー＞

製造販売中止 経過措置満了日：設定なし

※レギチーン注射液 5mg販売開始のため（当院未採用）

製造販売承認承継、販売移管のお知らせ

- ◎タウリン散 98%「大正」(一般名:タウリン)＜肝・循環機能改善剤＞
- ◎ボンビバ静注1mgシリンジ(一般名:イバンドロン酸ナトリウム水和物)＜骨粗鬆症治療剤＞
- ◎メタルカプターゼカプセル100mg(一般名:ペニシラミン)＜抗リウマチ剤・ウイルソン病治療剤・金属解毒剤＞
- ◎メトリジン錠2mg(一般名:ミドドリン塩酸塩)＜低血圧治療剤＞
- ◎ルセフィ錠2.5mg(一般名:ルセオグリフロジン水和物)＜2型糖尿病治療剤＞
- ◎ロコアテープ(一般名:エスフルルビプロフェン・ハッカ油)＜鎮痛消炎剤＞

大正富山医薬品株式会社→大正製薬株式会社 (2019年4月1日)

- ◎オゼックス細粒小児用15%(一般名:トスフロキサシントシル酸塩水和物)＜抗生物質製剤＞
- ◎ゾシン静注用4.5(一般名:タゾバクタム・ピペラシリン水和物)＜抗生物質製剤＞
- ◎ペントシリン注射用1g、2g(一般名:ピペラシリンナトリウム)＜抗生物質製剤＞
- ◎ルブラック錠4mg、8mg(一般名:トラセミド)＜利尿剤＞

大正富山医薬品株式会社→富士フィルム富山化学株式会社 (2019年4月1日)

- ◎アクトヒブ(一般名:破傷風トキソイド結合インフルエンザ菌b型多糖)＜ワクチン＞

サノフィ株式会社、第一三共株式会社、ジャパンワクチン株式会社→サノフィ株式会社 (2019年1月1日)

- ◎アネキセート注射液0.5mg(一般名:フルマゼニル)＜ベンゾジアゼピン受容体拮抗剤＞

アステラス製薬株式会社→アスペンジャパン株式会社 (2019年1月1日)

- ◎塩酸プロカルバジンカプセル50mg「中外」(一般名:プロカルバジン塩酸塩)＜抗悪性腫瘍剤＞※臨時採用薬
- ◎チガソнкаプセル10(一般名:エトレチナート)＜角化症治療剤＞
- ◎ピドキサール錠10mg(一般名:ピリドキサルリン酸エステル水和物)＜活性型ビタミンB₆製剤＞
- ◎フルツロンカプセル200(一般名:ドキシフルリジン)＜抗悪性腫瘍剤＞

中外製薬株式会社→太陽ファルマ株式会社 (2019年1月7日)

- ◎亜硝酸アミル「第一三共」(一般名:亜硝酸アミル)＜血管拡張剤・シアン化合物解毒剤＞
- ◎アドソルビン原末(一般名:天然ケイ酸アルミニウム)＜消化管用吸着剤＞
- ◎アミサリン錠125mg、注100mg(一般名:プロカインアミド塩酸塩)＜不整脈治療剤＞
- ◎イスコチン錠100mg(一般名:イソニアジド)＜結核化学療法剤＞
- ◎インジゴカルミン注20mg「第一三共」(一般名:インジゴカルミン)＜腎機能検査用薬・センチネルリンパ節同定用薬＞
- ◎クロマイ腫錠100mg(一般名:クロラムフェニコール)＜抗生物質製剤＞
- ◎セフメタゾン静注用0.5g、1g(一般名:セフメタゾールナトリウム)＜抗生物質製剤＞
- ◎糖液注50%「第一三共」(一般名:精製ブドウ糖)
- ◎ドロレプタン注射液25mg(一般名:ドロペリドール)＜麻酔用神経遮断剤＞
- ◎ノルアドレナリン注1mg(一般名:ノルアドレナリン)＜昇圧剤＞
- ◎バル筋注100mg「第一三共」(一般名:ジメルカプロール)＜重金属解毒剤＞
- ◎ピラマイド原末(一般名:ピラジナミド)＜結核化学療法剤＞
- ◎S・M配合散＜胃腸薬＞
- ◎パントシン散20%(一般名:パンテチン)＜ビタミン剤＞

第一三共株式会社、第一三共エスファ株式会社→アルフレッサ ファーマ株式会社 (2019年3月1日)

- ◎カプトリル錠12.5mg(一般名:カプトプリル)＜降圧剤＞※臨時採用薬
- ◎コートロシン注射用0.25mg(一般名:テトラコサクチド酢酸塩)＜合成ACTH製剤＞
- ◎コートロシンZ筋注0.5mg(一般名:テトラコサクチド酢酸塩)＜持続性合成ACTH製剤＞
- ◎セパゾン錠2(一般名:クロキサゾラム)＜抗不安薬＞
- ◎タリビッド耳科用液0.3%(一般名:オフロキサシン)＜抗生物質製剤＞
- ◎ビタメジン静注用＜ビタミン剤＞

第一三共株式会社、第一三共エスファ株式会社→アルフレッサ ファーマ株式会社 (2019年3月2日以降)

包装変更・使用期限変更等のお知らせ

- ◎アゾルガ配合懸濁性点眼液(一般名:プリンゾラミド・チモロールマレイン酸塩)＜緑内障・高眼圧症治療剤＞
 ◎エイゾプト懸濁性点眼液 1%(一般名:プリンゾラミド)＜眼圧下降剤＞
 ◎ベガモックス点眼液 0.5%(一般名:モキシフロキサシン塩酸塩)＜抗生物質製剤＞
 点眼ボトル側面の光沢感変更、点眼ボトル底面中央の窪みが少し広がる
 ◎アネキセート注射液 0.5 mg(一般名:フルマゼニル)＜ベンゾジアゼピン受容体拮抗剤＞
 アンプルラベル変更
 ◎イクスタンジ錠 40 mg(一般名:エンザルタミド)＜前立腺癌治療剤＞
 使用期限:製造後 3 年→製造後 4 年 に変更
 ◎イラリス皮下注射液 150 mg(一般名:カナキヌマブ(遺伝子組換え))
 ＜ヒト型抗ヒト IL-1 β モノクローナル抗体＞※臨時採用薬
 使用期限:24 ヶ月→36 ヶ月 に変更
 ◎ジスロマック SR 成人用ドライシロップ 2g(一般名:アジスロマイシン水和物)＜抗生物質製剤＞
 瓶ラベル変更
 ◎ネオキシテープ 73.5 mg(一般名:オキシブチニン塩酸塩)＜過活動膀胱治療剤＞
 支持体のサイズ変更:面積 35cm²→52.5cm² ※単位面積あたりの薬物含量低下、1 枚あたりの薬物含量変更なし
 薬袋のサイズ、デザイン変更
 製剤の入り数:1 枚/袋→7 枚/袋 ※変更に伴い薬袋にチャックが付く
 指導箋変更
 ◎ブラリア皮下注 60 mgシリンジ(一般名:デノスマブ(遺伝子組換え))＜ヒト型抗 RANKL モノクローナル抗体製剤＞
 患者用投薬時期お知らせカード変更
 ◎プレドニゾロン錠 1 mg(旭化成)(一般名:プレドニゾロン)＜合成副腎皮質ホルモン剤＞
 ピロー包装+バンド包装→バンド包装 に変更
 ◎ミダフレッサ静注 0.1%(一般名:ミダゾラム)＜抗けいれん剤＞
 バイアル瓶仕様変更:無色透明ガラス瓶→遮光瓶
 ◎ミニプレス錠 0.5 mg(一般名:プラゾシン塩酸塩)＜高血圧・排尿障害治療剤＞
 PTP シート変更
 ◎リオナ錠 250 mg(一般名:クエン酸第二鉄水和物)＜高リン血症治療剤＞
 錠剤の印字変更
 PTP シート変更

オーダ名変更のお知らせ

オーダ変更日	変更前		変更後
2018. 12. 6	ジメトックス錠 1 mg	→	ロフラゼブ酸エチル錠 1 mg 「日医工」

オーダ変更のお知らせ

オーダ変更日	薬剤名	変更内容
2018. 11. 19	デュロテップ MT パッチ 2.1 mg、4.2 mg	最大投与日数「30」→「10」
2018. 12. 7	ケブザラ皮下注 150 mgシリンジ、200 mgシリンジ	退院・外来処方可
2018. 12. 10	エブランチルカプセル 15 mg	脱 cap 小数入力「可」→「不可」
	ケタスカプセル 10 mg	
	ジルチアゼム塩酸塩 R カプセル 100 mg 「サワイ」	
	ダイメジンスリービー配合カプセル 25	
	ニトロール R カプセル 20 mg	

オーダー開始のお知らせ

臨時採用薬

オーダー開始日	薬剤名
2018. 12. 11	☆プレバイ ミス点滴静注240mg
	☆プレバイ ミス錠240mg

医療用材料他

オーダー開始日	医療材料名
2018. 11. 20	ホームAPDシステムゆめセットつなぐ4バッグ用少注液量セット
	グロウジェクターL

オーダー中止のお知らせ

オーダー中止日	薬剤名	理由
2018. 11. 9	タンデトロン注射用 20	20 μ g アルプロスタジルアルファデクス注射用に名称変更のため
2018. 12. 10	アイセントレス錠 400 mg	薬事委員会で削除が承認されたため
	イオウカンフルローション 100mL	
	グリチロン配合錠	
	スンペプラカプセル 100 mg	
	ロキソニン錠 60 mg	
	ロキソニンテープ 100 mg	
	ロレルコ錠 250 mg	
	インテバン SP25	販売中止のため削除
	ベタヒスチンメシル酸塩錠 6 mg 「トローワ」	
	ラシックス細粒 4%	

☆Drug Safety Update No. 275 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
乾燥弱毒生水痘ワクチン （乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」）	<p>※重大な副反応：無菌性髄膜炎</p> <p>…項部硬直、発熱、頭痛、悪心・嘔吐、意識混濁等があらわれることがある。異常が認められた場合、適切な処置。</p> <p>なお、本剤接種数年後にも、帯状疱疹に伴う無菌性髄膜炎があらわれた症例が報告されている。</p>

※DSU について：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) で確認可能

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計14品目)

平成30年12月11日(火)よりオーダ開始

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効
1	アイセントレス 625	錠	600mg	劇	1,553.6	MSD	Raltegravir Potassium HIVインテグラーゼ阻害剤 ★HIV曝露事故の際に曝露者が妊娠中であった場合には本剤を使用する必要がある ★アイセントレス錠400mgは1日2回の服用であるが、本剤は1日1回のみの服用が可能となり、服薬の簡便性の向上や飲み間違いのリスクの軽減が期待できる(1日量は両剤とも2錠) ★1200mg(600mg錠×2)1日1回投与の有効性は、400mg1日2回投与に対し非劣性 ★1日薬価はアイセントレス錠400mgと同じ ★食事の有無に関わらず投与可能 ★他の抗HIV薬と併用が必要 【発売:2018.6.14】
1	シベクトロ 624	錠	200mg	－	20,801.4	MSD	Tedizolid Phosphate オキサゾリジノン系合成抗菌剤 ★オキサゾリジノン系の新規抗MRSA薬 ★リボソームの50Sサブユニットに結合して70S開始複合体の形成を阻害することにより、細菌の蛋白合成が阻害され、菌の増殖を抑制する ★皮下脂肪組織及び骨格筋組織への良好な組織移行性を示した ★皮膚・軟部組織感染症患者を対象に治癒率86.2%、微生物学的効果は93.1%であった ★静脈内投与から経口投与へ用量変更なく切り替えることが可能 ★1日1回投与 ★プロットラッグであり、胆汁中に排泄され、血小板減少等の副作用が少ない ★(シベクトロ注)希釈液量250mLと少ない 【発売:2018.8.21】
1		注			28,084.0		
1	スルピリン	注	250mg/mL	－	92.0	日医工	Sulpyrine Hydrate 解熱剤 ※メロン注25%販売中止に伴う切り替え 【発売:2013.6.21】
1	セルヤンツ 399	錠	5mg	劇 ハイリスク	2,611.5	ファイザー	Tofacitinib Citrate ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤 ★関節リウマチ領域における世界初のヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤 ★潰瘍性大腸炎の適応が追加となり、JAK阻害薬としてガイドラインにも、他バイオ製剤と同じ位置付けとなった ★経口投与の低分子治療薬として患者要望の需要が増加している ★緊急購入歴あり 【発売:2013.7.30】
1	ネキシウム懸濁用顆粒分 包 232	顆粒	10mg/包	－	80.6/包	アストラゼネカ	Esomeprazole Magnesium Hydrate プロトンポンプ・インヒビター ★小児適応があるPPIは本剤のみ ★ネキシウムカプセル20mgの採用あり 【発売:2018.4.18】

1	ノベルジン 392	錠	50mg	劇	422.3	ノーベルファーマ	Zinc Acetate Hydrate ウィルソン病治療剤（銅吸収阻害剤）、低亜鉛血症治療剤 ★化学療法中あるいは術後の低亜鉛血症に対する治療薬は過去には上市されておらず、プロマック錠等の亜鉛を含有する薬剤を使用していたが、十分な亜鉛の補充は困難であった ★本剤は低亜鉛血症に対する治療薬として開発されており、亜鉛の含有量（本剤:50mg/tab）がプロマック錠（亜鉛含有量:16.9mg/tab）と比べ全く異なる ★低亜鉛血症に適応を有する薬剤は本薬のみ ★臨床試験では、97.4%の患者で目標血清亜鉛濃度の維持が可能であった ★副作用は31.1%の患者に認められ、主な自覚症状では悪心5.4%、嘔吐4.1%、掻痒感2.7%、臨床検査ではリパーゼ増加8.1%、血清銅減少4.1%、血清鉄減少2.7%程度と報告されている ★緊急購入歴あり 【発売:2015.2.23】
	フロセミド4%	細粒	4% (40mg/g)	－	6.4/g	エルメット・エー・サイ	Furosemide 利尿降圧剤 ※ラシックス細粒4%販売中止に伴う切り替え 【発売:1997.7.11】
1	ベタヒスチンメシル酸塩「JD」	錠	6mg	－	6.0	東和薬品	Betahistine Mesilate めまい・平衡障害治療剤 ※ベタヒスチンメシル酸塩錠6mg「トーフ」販売中止に伴う切り替え 【発売:2017.6.16】
1	ヘルニア椎間板 399	注	1.25単位	－	81,676.0	科研製薬	Condoliase 腰椎椎間板ヘルニア治療剤 ★世界に先駆けて日本で初めて承認されたコンドリアーゼを有効成分とする腰椎椎間板ヘルニア治療剤 ★椎間板髄核中におけるグリコサミノグリカンの特異的に分解することにより椎間板内圧を低下させる新しい作用機序を有する ★現在の腰椎椎間板ヘルニアの治療は保存療法と手術療法に大別され、保存療法が治療の原則だが、ヘルニア椎間板注用1.25単位は新たな治療選択肢となる腰椎椎間板ヘルニア治療剤である 【発売:2018.8.1】
1	ミラクリット [®] 399	注	5万単位	－	1,111.0	持田製薬	Ulinastatin 多価・酵素阻害剤 ★ミラクリット注射液2万5千単位が販売中止のため ★ミラクリット10万単位の採用あり 【発売:1994.7.18】
1	レクタブル注腸フォーム 239	注腸	2mg/14回	－	6,826.9	EAファーマ	Budesonide 潰瘍性大腸炎治療剤 ★日本発の注腸フォーム剤 ★注入簡便、コンプライアンス向上期待 ★泡が直腸～S状結腸まで広がり、とどまることで、漏れにくく、立ったままで投与できる ★レクタブルは、ブテゾニドのため吸収量が少なく粘膜に薬剤がとどまるため、高い効果が期待される ★有効成分ブテゾニドのバイオアベイラビリティは約16%と推察され、体内に吸収後は肝臓で代謝を受け、全身への曝露が少ない ★ステロネマは腸から吸収され、ステロイドの全身的な副作用が懸念される ★緊急購入歴あり 【発売:2017.12.7】
1	レクチゾール 269 623	錠	25mg	－	74.9	田辺三菱	Diaphenylsulfone 外皮用薬、抗ハンセン病剤 ★持久性隆起性紅斑、ジューリング疱疹状皮膚炎、天疱瘡、類天疱瘡、色素性痒疹の治療に用いられる薬剤である ★これらの疾患に対してはステロイドやその他の免疫抑制剤が用いられることがあるが、免疫抑制治療により重篤な感染症を併発することも少なくない ★本剤は免疫抑制作用は少なく、比較的安全に使用でき有用である 【発売:1991.10.7】

1	レパサー皮下注オートミドナー 218	皮下注	420mg	-	46,511.0	アステラス製薬	Evolocumab (Genetical Recombination) ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤 ★従来のスタチンを中心とした内服薬でコントロール不良患者への追加投与 ★主な対象患者は心血管イベントリスクの高い患者、家族性高コレステロール血症の患者 ★スタチン療法に追加投与することで、心血管イベントを15%/2.2年間低下 ★4週に1回投与 ★在宅自己注射可能 ★薬剤が約9分間かけて自動注射され、針の太さは29Gと細く痛みが軽減される ★シリンジ製剤(2週に1回投与、要通院、外来で看護師が注射)と比較して、患者負担軽減できる 【発売: 2018.1.12】
---	-----------------------	-----	-------	---	----------	---------	--

④自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)(合計1品目)

採用区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効
4	ワンショットプラス P EL-Ⅱ 399	外用	100包/箱	-	-	白十字	Ethanol ★国公立大学一斉調達で白十字社製のワンショットプラスからオオサキメディカル社のアルウェッティに変更したが、アルコール綿花が1枚と薄くアルコールが滴り落ちてくことや、パッケージが破りにくく使用しにくいとの医療現場や患者サイトから意見あり ★現行採用品のオオサキメディカルは医薬部外品で中国製品であり品質に不安がある ★医薬部外品よりも医薬品の白十字社製品が感染制御の面、品質の面でより望ましいため ★医療脱脂綿に日本薬局方消毒用エタノール(76.9～81.4vol%)があらかじめ含浸されているので、封を切るだけでそのまま使用でき、院内での消毒綿作成の手間を省くことが出来る ★第3類医薬品 【発売: 2003.11】

⑤臨時採用医薬品 (合計2品目)

採用区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効
5	フレバimis 625	錠	240mg	劇	14,379.2	MSD	Letermovir 抗サイトメガロウイルス(CMV)化学療法剤 ★同種造血幹細胞移植(HSCT)患者におけるCMV感染症の発症抑制に適応を有する薬剤 ★世界初のCMVターミナーゼ阻害剤(ヒトには存在しないCMVターミナーゼ複合体を阻害) ★これまでCMV感染症について予防薬はなく、先制治療が行われてきたが、デバシンは骨髄抑制が、ホスガビルは腎障害が問題となり、移植後早期には非常に使用しづらく、減量や休薬を必要とすることが多い ★CMV感染症は致死的経過をたどることもありうる ★CMV感染症を予防することにより移植後合併症の減少や他の抗CMV薬の投与による副作用を減少でき、移植成績の向上が期待できる ★希少疾病用医薬品 ★緊急購入歴あり 【発売: 2018.5.28】
5		注	240mg		17,897.0		

⑥院外専用医薬品 (合計7品目)

採用区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効
6	トポベット 269	ゲル剤	15g/本	劇	247.5/g	協和発酵キリン	Calcipotriol Hydrate、Betamethasone Dipropionate 尋常性乾癬治療剤 ★1 日1 回塗布 ★本薬剤は、ステロイドとビタミンD ₃ の配合剤の中では唯一のゲル製剤であり、特に頭部の乾癬の皮疹に塗布しやすいという特徴を有する ★併用時の有効性・安全性の向上、塗布時間・回数の軽減(1日1回)による患者のアドヒアランス向上が期待できる ★トポベット軟膏15gの採用あり 【発売: 2018.6.4】

6	イニシク配合 396	錠	アログリフチン 25mg メホルミン塩 酸塩500mg	劇	166.4	武田薬品工業	Alogliptin Benzoate、Metformin Hydrochloride 選択的DPP-4阻害薬/ビグアナイド系薬配合剤 ★アログリフチン25mgとメホルミン塩酸塩錠500mgの合剤 ★2型糖尿病の経口薬治療では、DPP-4阻害薬とメホルミンはどちらも第一選択薬になりえる薬剤である ★1日1回1錠内服(服用回数、錠数減少) ★服用回数が多いメホルミン服用患者の負担軽減につながる可能性がある ★外来診療において配合錠の持ち込み患者に対して薬剤を分けて処方するとコンプライアンス悪化につながる可能性もある 【発売:2016.11.29】
6	ニゾラルクリーム2% 265	外用	10g/本	-	33.4/g (334円/本)	ヤンセンファーマ	ketoconazole 外用抗真菌剤 ★イミダゾール系抗真菌剤 ★マラセチアが発症に関与していると考えられている脂漏性皮膚炎に対して、保険適応がある当院採用薬は本剤のローション剤(ニゾラルローション)しかないが、ローション剤では顔面、体幹には使用しづらい ★本剤(クリーム剤)の採用により、顔面、体幹への使用に対するアドヒアランスの向上が期待でき、臨床的に有用と考えられる ★ニゾラルローション2%採用あり 【発売:1993.12.1】
6	ベピオゲル2.5% 269	ゲル剤	15g/本	-	115.4/g (1731円/本)	マルホ	Benzoyl Peroxide 尋常性ざ瘡治療剤 ★過酸化ベンゾイルのゲル製剤 ★1日1回、洗顔後に患部に適量を塗布することにより、炎症性皮疹数、非炎症性皮疹数を減少させる ★尋常性ざ瘡の原因菌であるP. acnesに対して抗菌作用を示す。(in vitro) ★角質細胞同士の結合を弛め、角層剥離を促し、毛漏斗部の閉塞を改善する ★日本皮膚科学会の尋常性ざ瘡ガイドラインによれば炎症性皮疹(軽症から中等症)に強く推奨する(推奨度A)とされている ★本院にはデュアック配合ゲル(クリンダマイシン/過酸化ベンゾイル3%配合薬)やデイフェリンゲル(アダパレン)の採用もあるが、両剤で刺激性が強いなどの副作用がある際には使用できる尋常性ざ瘡治療薬の採用がない。 ★本剤の採用により軽症～中等症の尋常性ざ瘡患者に対して第一選択薬としても使用可能である 【発売:2015.4.1】
6	コムクロシャンプー 264	シャンプー 様外用 液	0.05% (125g/本)	劇	28.2/g (3412円/本)	マルホ	Clobetasol Propionate 外用頭部乾癬治療剤 ★short contact therapy(短時間接触療法:適量塗布し、約15分後に泡立て、洗い流す)を用法としたシャンプー様外用液剤 ★洗髪時に1日1回使用 ★従来のグリゾールスカルプローション(ステロイド外用剤Ⅰ群strongest)に比べ、皮膚萎縮等の副作用を生じにくい ★常備薬採用から院外専用への移行 【発売:2017.7.11】
6	トレリーフOD 116	錠	50mg	劇	1,422.8	大日本住友製薬	Zonisamide パーキンソン病治療薬(レボドパ賦活剤) ★トレリーフOD錠25mg2錠に対し服薬錠数が1錠減り、服薬アドヒアランスの向上が期待できる ★レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズムは、トレリーフOD錠25mgのみ使用可能である ★トレリーフOD錠25mg採用あり(当規格は「レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム」の適応あり) ＜経済性＞ ・トレリーフOD錠25mg 2錠 1897円/日 ・トレリーフOD錠50mg 1錠 1422.8円/日 【発売:2017.12.18】

6	インフリー-S 114	カプセル	200mg	劇	28.0	エーザイ	Indometacin Farnesil 組織活性型鎮痛・抗炎症剤 ★肝の初回通過効果を受けにくく、血中では大部分が未変化体として存在し、組織移行性が高い ★肝、腎のほか、一部は炎症病巣で活性体インドメタシンを生成する組織活性型鎮痛・抗炎症剤 ★インドメタシンは、他のNSAIDsに比べ、好酸球性膿疱性毛包炎などの炎症性皮膚疾患に対して高い消炎効果を発揮する特徴を有する 【発売：1994.12.13】
---	----------------	------	-------	---	------	------	--

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品（合計9品目）

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	削 除 理 由
1	アクトス	錠	30mg	劇	イニシク配合錠採用の場合、削除
1	カロナール坐薬	外用	200mg	劇	ネキウム懸濁用顆粒分包10mg採用の場合、削除
1	次硝酸ヒスマス	散	－	劇	シベクトロ錠200mg採用の場合、削除
1	ステロネマ	注腸	－	－	レクタブル注腸フォーム採用の場合、削除
1	セファランチン末	散	－	劇	シベクトロ点滴静注用200mg採用の場合、削除
1	ファルモルビン	注	10mg	劇	ハベルシン錠50mg採用の場合、削除
1	フロヘン	錠	40mg	劇	ヘルニコア椎間板注1.25単位採用の場合、削除
1	メサフィリン	散	－	劇	ゼルヤンツ錠5mg採用の場合、削除
1	レパース注シリンジ	皮下注	140mg	－	レパース皮下注420mgオートミドナー採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。あるいは、治療に問題のある場合、「患者限定」に登録します。（注：「患者限定」は原則、在庫しない医薬品です。）

【3】削除医薬品（合計10品目）

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	削 除 理 由
1	アイセントレス	錠	400mg	劇	アイセントレス錠600mg採用のため、削除（平成30年12月11日削除）
－	アルウェッティ®One-E	外用	－	－	ワンショットプラス P EL-Ⅱ 採用のため、削除（平成30年12月11日削除）
1	イオウ・カンフルローション	外用	100mL	－	ヤーボイ点滴静注液50mg採用のため、削除（平成30年12月11日削除）
1	グリチロン配合	錠	－	－	ネリンカプセル100mg採用のため、削除（平成30年12月11日削除）
1	コムクロシャンプー	外用	0.05%	劇	レクチゾール錠25mg採用のため、削除（平成30年12月11日削除、区分6へ移行）
1	スンペブラ	カプセル	100mg	劇	レンビマカプセル4mg採用のため、削除（平成30年12月11日削除）
1	ピシパニール	注	0.2KE	劇 ハイリスク	テセントリク点滴静注用1200mg採用のため、削除（平成30年12月11日削除）
1	ロキシニン	錠	60mg	－	ナルサス錠2mg採用のため、削除（平成30年12月11日削除）
1	ロキシニンテープ	外用	100mg	－	ナルラビド錠1mg採用のため、削除（平成30年12月11日削除）
1	ロレルコ	錠	250mg	－	ハルモディア錠0.1mg採用のため、削除（平成30年12月11日削除）

【4】販売中止医薬品（合計8品目）

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	削 除 理 由
1	インテバンSP	cap	25mg	劇	販売中止のため削除 （平成30年12月11日削除、インフリー-Sカプセル200mgに切り替え）
5	エルカルチンFF	注	1000mg	－	販売中止のため、削除（削除済み）
5	ジメンシー	配合錠	－	劇	販売中止のため、削除（削除済み）
1	ペタヒスチンメシル酸塩「トーワ」	錠	6mg	－	販売中止のため、削除 （平成30年12月11日削除、ペタヒスチンメシル酸塩錠6mg「JD」に切り替え）
1	ミラクリット	注	2.5万単位	－	販売中止のため、削除 （削除済み、平成30年12月11日ミラクリット注射液5万単位に切り替え）
1	メチロン	注	25%	－	販売中止のため、削除 （平成30年12月11日削除、スルピリン注射液250mg「日医工」に切り替え）
1	ラシックス	細粒	4%	－	販売中止のため、削除 （平成30年12月11日削除、フロセミド細粒4%に切り替え）
1	ラモセトン塩酸塩	注	0.3mg	劇	販売中止のため、削除（平成30年12月11日削除）

【5】報告事項

①歯科口腔用医薬品（合計15品目）の院内採用への登録について

歯科口腔外科にて以前より購入履歴あり、採用区分1へ登録

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区 分	薬 価	会 社 名	薬 効
1	オキシテトラコーン歯科用挿入剤	－	5mg	劇	16.9	昭和薬品化工	歯科用抗生物質製剤
1	サージカルバック口腔用	－	－	－	65.4/g	昭和薬品化工	歯科用繃帯剤
1	ジンジカインゲル	ゲル剤	20%	－	66.7/g	白水貿易	歯科用表演麻酔剤
1	スキヤントネストカートリッジ	管	3%	劇	92	日本歯科薬品	歯科用局所麻酔剤
1	ネオクリーナー「セキネ」	液剤	30mL	－	－	ネオ製薬工業	根管清掃剤
1	ネオダイン	液	10mL	－	－	ネオ製薬工業	仮封・歯髄覆罩剤
1		粉末	50g	－	－	ネオ製薬工業	仮封・歯髄覆罩剤
1	フェノール・カンフル歯科用消毒液「昭和」	－	15g	劇	－	昭和薬品化工	歯科用鎮痛・鎮静・消毒剤
1	フルオール・セリ－歯科用	－	2%	－	－	ビーブランド・メディコーデンタル	う歯予防フッ化物歯面塗布剤
1	ペリオドン	－	2g	劇	－	ネオ製薬工業	根管消毒・治療剤
1	ホルマリン・グアヤコールFG「ネオ」	－	15mL	劇	－	ネオ製薬工業	根管殺菌・消毒剤
1	歯科用キシロカインカートリッジ	管	8mL/管	劇	78.2	デンツプライシロナ	局所麻酔剤
1	歯科用シタネスト－オクタプレシ ンカートリッジ	管	8mL/管	劇	68.8	デンツプライシロナ	局所麻酔剤
1	歯科用ホルマリンクレゾール	－	15mL	劇	－	日本歯科薬品	根管消毒剤
1	歯科用ヨード・グリセリン	－	25mL	劇	－	日本歯科薬品	口腔粘膜・根管消毒剤

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻：麻薬、毒：毒薬、劇：劇薬、向：向精神薬、特生：特定生物由来製品、ハイリスク：医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分（1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品（薬価基準非収載医薬品）、5:臨時採用医薬品、6:院外専用医薬品）